

日本学術振興会・特別研究員（DC）申請に向けてのチェック表

作成者：鈴木啓之

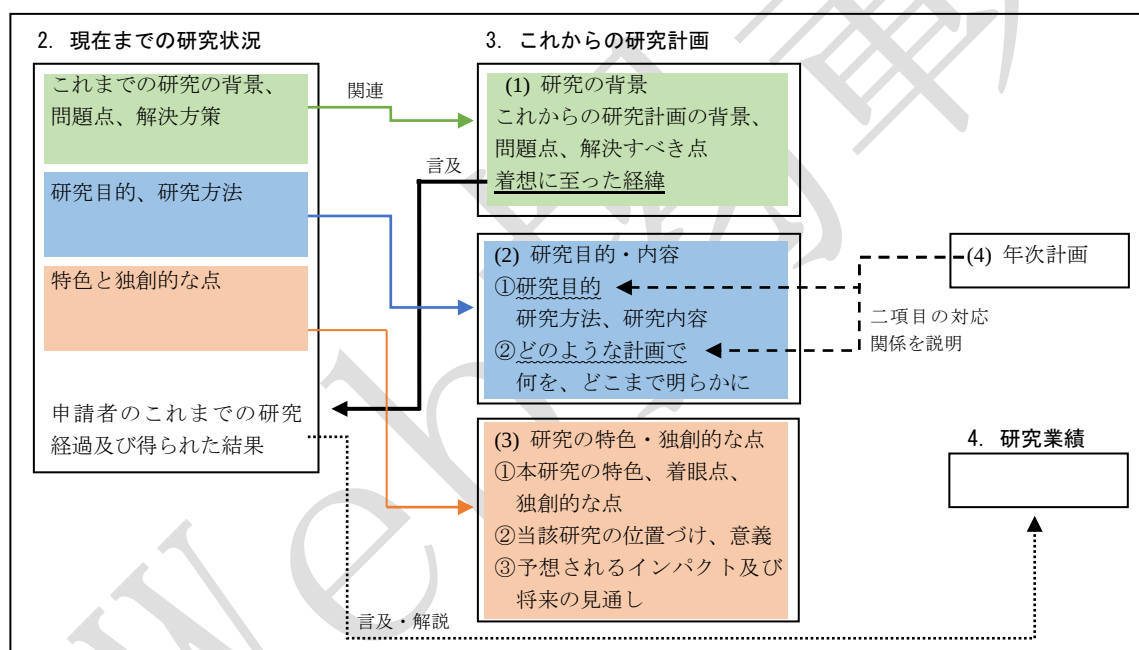
作成日：2013 年 4 月

更新：2019 年 7 月 21 日 (ver.11)

注) このチェック表は、申請者から相談を受けるなかで作成者個人が作成したものです。
内容は作成者個人の見解で構成されていますので、あくまで参考としてご利用ください。

1. 申請書の構造

- ・申請書の「2」は過去・現在・未来の全体的な俯瞰、「3」がこれから申請する研究のメイン部分を詳述する形になっています
- ・したがって、申請書の「2」と「3」は、下記のように項目が関連しています



2. 申請書への記入

- ・申請書の各項目には、以下の3点を意識してコンパクトな文章を書いていきます

説明 … 研究する事象や概念、用いる分析手法を簡潔に説明します

→特に他分野とあわせて審査される領域の場合は、基本的概念でも簡潔かつ明瞭に説明する必要があります（学振 HP の「審査セット」を確認）

意義（社会的） … 研究が必要な対象であること、注目すべきものだということを説明します

意義（学術的） … なぜ申請者が自ら研究しなければならないのかを、先行研究との関係などから説明します

2. 現在までの研究状況

【これまでの研究の背景】	
貴方の研究（関心）の全体像が示されていますか	
研究する社会的意義が示されていますか	

【問題点と解決方策】	
なぜ貴方がこれまで研究を行う必要があったのか（先行研究ではなぜ不十分なのか）、明確に述べられていますか	
これまでの研究（自分のものや他人のもの）の問題点が、具体例を挙げて指摘されていますか	
問題点を克服するためにどのような手法を用いてきたのか（用いているのか）、わかりやすく示していますか	

【研究目的と研究手法】	
今、貴方が取り組んでいる研究目的（～を明らかにする）が、簡潔な文章で示されていますか	
目的を達成するための方法（分析手法など）に言及していますか	

【特色と独創的な点】	
貴方の研究の新しさや面白味（特色）が明示されていますか？	
先行研究との関係から貴方の研究がなぜ重要なのか（独創的な点）が提示されていますか？	

【研究過程および得られた結果】	
＊業績の内容について解説できる箇所です！	
時系列などにしたがって、これまでの取り組みが簡潔に述べられていますか	
貴方のこれまでの研究で明らかになったことが、わかりやすく述べられていますか（具体的な研究業績に言及していますか）	
研究成果の学術的・社会的意義は提示されていますか	

関連

言及

3. これからの研究計画

(1) 研究の背景

【これからの研究計画の背景】	
今後どのような取り組みを始めるのか、簡潔に述べられていますか	
その取り組みの社会的意義は示されていますか	
【問題点・解決すべき点】	
なぜ貴方が今後も研究を行う必要があるのか（先行研究ではなぜ不十分なのか）、明確に述べられていますか	
【着想に至った経緯】	
この取り組みにたどり着いた経緯が、具体的に示されていますか	

(2) 研究目的・内容

【研究目的】＊1（次頁「年次計画」参照）	
貴方がこれから取り組む研究目的（～を明らかにする）が、簡潔な文章で示されていますか	
その目的を達成する学術的・社会的意義は示されていますか	
【研究方法・内容】	
目的を達成するための方法（分析手法など）が示されていますか	
その方法をどのように（何を対象に／どのような組み合わせで）用いるのか、説明されていますか	
その方法を用いる必然性や意義は示されていますか	
【研究の計画】＊2（次頁「年次計画」参照）	
研究のプロセス（順序や各分析の関係性）が示されていますか	
（それぞれの段階で）何が明らかになるのか、明示されていますか	
【共同研究・他機関での・・・】	
研究計画との関係性は示されていますか（該当なしの場合は省略）	

(3) 研究の特色・独創的な点

【研究の特色・独創的な点】	
貴方の研究の新しさや面白味（特色）が明示されていますか？	
先行研究との関係から貴方の研究がなぜ重要なのか（独創的な点）が提示されていますか？	
この研究が発展する見通しは書かれていますか（学術・社会）	

(4) 年次計画

【年次計画】	
「研究の計画」*2をベースとして、「研究目的」*1との対応関係を明示する	
研究の各段階（プロセス）とそこで明らかになること、研究目的を関連付けて記述していますか	
スケジュールは説得的に提示されていますか(欧語雑誌に年間8本投稿！・・・など無謀な点はありませんか)	

(5) 人権の保護及び法令等の遵守への対応

【人権の保護及び法令等の遵守への対応】	
(該当無し)と一言でも良いです *該当する場合は、自分の研究で関係する箇所を明示し、研究従事予定機関または研究科の倫理規定（具体的な規定の名称を挙げる）に従うことを明記することをお勧めします	

4. 研究業績

【研究業績】	
- 上部に記載される形式指定を必ず熟読してください（形式がよく変わります） 「その他」には、獲得した奨学金（≒競争的資金の獲得）、TAやRAの勤務経験（≒研究・教育活動への従事）、証明書が発行されるコースの履修（≒学術活動における証明書）、受賞歴（優秀論文、学科賞）などを書くことができます	

5. 自己評価

【自己評価】	
研究職にふさわしい資質・能力を具体的に述べていますか *例えば、単に「情熱に溢れています！」だけではなく、その情熱でこういった取り組みを行っているのかを具体的に書いていますか	
語学の資格や留学歴、「研究業績」欄や関連する Web サイトに言及するなど、論拠を具体的に示していますか	

全体に関するチェック項目

【ビジュアル・レイアウト面】	
1. レイアウトは読者を考えたものになっていますか *行間、改行時の字下げの有無・段落前後の間隔、図表と文字の距離、使用するフォントの種類・大きさ、など	
2. 図表を用いる場合、説明文なしで十分に内容が理解できる程度にその図表は整理されていますか (モノクロコピーに耐える明瞭さがありますか)	
3. 本文の強調は適切な箇所で行なわれていますか *小見出しと対応する最も重要な箇所を強調していますか *強調箇所に代名詞（これ／それ／そうした／このような・・・etc.）を不要に用いていませんか *強調の仕方が統一されていますか（ゴシックか太字、下線のいずれかに統一することをお勧めします）	

【内容面】	
1. 基本的な概念や言葉の説明は十分にできていますか *HPで公開される申請年度の審査セットを必ず確認し、特に他分野とあわせて審査される領域の場合は、読みやすさを十分に確認してください	
2. 各項目内での記述の文章量バランスは適切ですか *極端に短い項目がある場合は内容を検討してください	
3. 誤字脱字、用語の不統一などないですか	

【手続き面】	
1. 申請タイトル（40字以内）の作成は済んでいますか *前年度の採用者リストなどで過去のものを参照してから作成することをお勧めします	
2. 受け入れ研究者（≒指導教官）に推薦書の依頼は済んでいますか *自分のアピールポイントを書き入れた下書きを作成して、それを元に作成を依頼することをお勧めします	